

図書館だより

目次

図書館を変える賑わうエリア 日本女子大学叢書の紹介 高野良子著『女性校長の登用とキャリアに関する研究』	—田中 功	1
	—高野 良子	2
林忠正シンポジウム実行委員会編 『林忠正：ジャポニスムと文化交流』	—高頭 麻子	3
展示「西生田の森へようこそ」	—山村いづみ	4
日本女子大学図書館友の会第44回・ 平成21年度総会開催される	—大沼 真美	5
HP から貸出延長と予約ができるようになりました！	—中澤 恵子	6
図書館からのお知らせ		8



紫陽花越しにのぞむ西生田図書館

図書館を変える賑わうエリア

田中 功

いままで図書館は一人静かに勉強や読書をする場所であるという考えから、それに応えるような図書館づくりをしてきた。しかし時代の変化とともにこの通念が揺らぎ始めている。その背景には次のようなネット世代における学習意識の変化があるという。

冊子体よりデジタルを好む、またパソコンを使って学習したい、仲間と一緒に学びたい、静かすぎると落ち着かない、また自分の視線の範囲内に人がいないと不安であるなどである。いままで図書館はこのような利用者にとって閉鎖的な空間であった。しかし新しい図書館の流れはいろいろなタイプの利用者により耳をかたむけ、従来のような個人利用を中心とした場所だけでなく、多様な利用を可能とする図書館をめざしていく方向にある。

その1つが最近設けられているラーニング・コモンズという広い空間である。ここにはネットワークパソコンが並べられ、またグループでの小さなミーティングが可能な円形のテーブルも随所に見られる。友人と会話したり、コンピュータを使って共同で課題を行ったりすることができる場所である。ここは私語禁止といった堅苦しいルールから解放され、コンピュータを利用した学習や利用者間のコミュニケーションを通じて学ぶことのできる図書館の賑わう場として注目されている。

アメリカやカナダの大学図書館では1990年代からこのようなエリアが誕生しはじめた。しかし個人で静かに勉強するエリアもきちんと設けている。たとえばサンフランシスコ州立大学図書館では、図書館の学習エリアを3つに分ける。ラーニング・コモンズのような静けさを求めない賑わう場所の Group study area, キーボード音までは認められる Quiet study area, パソコンや私語が一切禁止され、静寂な環境で集中したいためのエリアは Silent study area と名付けている。またカナダのプリティッシュコロンビア大学図書館でも同じように Group study room, Silent study room, Very silent study room という3つのエリアがある。

最近この傾向は公共図書館にも及んでいる。2004年にオープンしたシアトル公共図書館の仕切りのない広々とした1階は賑わいのあるフロアである。そこではこれが図書館かと目をみはる光景が毎日展開される。カフェでくつろぐ人、ライブラリーショップで買い物をする人、図書館員の説明に耳を傾けるグループ、その横で雑誌や新刊書を読んでいる人、またその隣はパソコンで資料を探す人。この人たちは、このフロアが自分にとって最も居心地のよいスペースなのである。周囲の音や声など全く気にすることなく思い思いに過ごしている風景が楽しい。またこの雰囲気が活気ある明るい図書館を巧みに演出しているのも見事である。

この1階を図書館が「リビングルーム」と呼んでいることも驚きであった。住宅のリビングルームは変幻自在の空間であり、その空間をどのようにも変化させる力がある。図書館ではフレキシブルに学習できる空間が、変化させる力の鍵であると考えている。(図書館長・日本文学教授)

高野良子著

『女性校長の登用とキャリアに関する研究 一戦前期から
1980年代までの公立小学校を対象として一』（日本女子大学叢書2）

高野 良子

教職は、高等教育機関を通過した女性の職業のひとつとして、明治以来の長い歴史をもっていますが、学校管理職における男女共同参画はどのように進化したのでしょうか。また、女性の職域の拡大や社会的地位の向上は、「女性初」という表現とともにこれまで数多く報告されていますが、教育の場における「女性初」、例えば、各都道府県における「女性初」の小学校長はいつ、どのようにして誕生したのでしょうか。

学校教育の場も社会の縮図の側面を多分に持ち、学校段階や管理職や校務分掌における教員配置にも性別構成の不均衡が存在し、長い間、学校管理職は男性で占められてきました。文部科学省「学校基本調査報告書」各年度版により、女性公立小学校長数と比率の推移を追ってみると、戦後もなく各県に2人前後の女性公立小学校長が配置され、1949年度には男性20,566人に対して女性校長は108人、女性の比率は0.5%でした。1953-1964年代にはやや減少し0.4%台で推移しますが、再び上昇に転じ、1989年度の女性校長比率は3.1%（731人）、1996年度には1割を超え、そして、現在（2008年度）の女性比率は17.9%に達しています。戦後すぐの比率と比べ隔世の感があるものの、女性の校長占有率は依然として低く、すでに6割を超えて久しい女性教師率とのアンバランスは否めません。性による偏りを是正するためには、女性校長のキャリア形成過程を歴史的に明らかにすることの中から見いだされるのではないのでしょうか。そしてこの問い直し作業は、男女共同参画社会を男性と共に担う性、すなわち、もう一方の自律的な担い手であるべき女性の更なる向上に資するものと考えます。

そこで本書は、戦前・戦後の女性公立小学校長の草創期から漸次的に数の拡大が進む1980年代までを、統計上における量的変化に着目し、戦前期、戦後第Ⅰ期（1946-1952年）、第Ⅱ期（1953-1964年）、第Ⅲ期（1965-1988年）の4期に時期区分し、女性校長第一号、そして後続した女性校長の登用とキャリア形成を中心に、資(史)料およびアンケート調査や41人の校長経験者などへの聞き取り調査に基づき、女性校長の量的拡大過程を歴史的に照射することを意図しました。

戦前期は「パイオニア期」と位置付け、戦前期の女性校長の登用に関する基礎データを時系列的に明らかにしています。戦後第Ⅰ期は「マッカーサー・プレゼント」期で、各県第一号の登用は、一連の占領政策の一環としてもたらされたものであり、女性教師の覚醒に先んじて教育行政機関主導の形で女性校長の実現を見たこと、さらに、学歴キャリアが社会的地位形成への主要なチャンネルとして機能していたことなどを論じています。しかし、この全国的な第一号の誕生は、「時代が変わり、女の校長先生が出きたそうだが、女の校長の下で働く男の先生の顔がみたい」や「ポツダム校長」などと揶揄する声がある中での船出でした。第Ⅱ期には一転して下降線を描くことになり、「冬の時代」と捉えています。第Ⅲ期は再び上昇に転じ「安定的漸増期」となり、最も遅れていた長野県にも第一号が登用されます。管理職試験制度の開始が女性校長輩出の起爆剤となった点と、教頭職を経て校長になるというキャリアプロセスが第Ⅲ期で通常化した点を指摘しています。

以上、女性校長の量的拡大は、①教育行政機関の積極的なリーダーシップと②女性校長のキャリアの充実とパイオニアとしての社会的使命感の獲得、そして③地域住民の「校長=男性」などに代表される固定的なジェンダー意識の修正という「三部作」によってもたらされたことを論じています。

最後になりますが、本書は、日本女子大学総合研究所の刊行助成により上梓することができました。お世話になった諸先生ならびに関係機関に深く感謝いたしますとともに、著書紹介の機会を与えてくださった本学図書館に厚く御礼を申し上げます。

（植草学園大学教授、元日本女子大学教育学科専任助手・非常勤講師）

2006年8月31日刊行 風間書房 303頁 *目白・西生田所蔵 請求記号373.78-Tak



林忠正シンポジウム実行委員会編

『林 忠正：ジャポニズムと文化交流 HAYASHI TADAMASA :
Japonisme and Cultural Exchanges (対訳)』(日本女子大学叢書3)

高頭 麻子

林忠正(1853~1906)は、19世紀末のパリで20年余美術商として活躍し、日本美術を西欧の人々に紹介した。明治維新から間もない当時の日本には、西洋的な「美術」の観念もなく、人気の高い漆器や陶器などの工芸品が、系統立てた研究・分類・陳列の対象となることなど、理解できなかった。西欧の日本ブームに的確に対応できなかったのである。林は、西欧の文化人や日本美術研究者の求めに応じて、工芸品や浮世絵などの背景にある日本の歴史・文化の知識を、流暢なフランス語で伝える一方で、1900年パリ万国博の日本館事務官長としては、日本の古今の美術工芸品を組織的に紹介・展示する指揮を執った。同時にまた、当時まだパリでも理解されなかった印象派の画家たちを支援し、その作品を日本に紹介するため、美術館まで造ろうとしていた。

林のこうした活動に対し、フランス政府は1900年にレジオン・ドヌール勲章三等を贈った。しかし、文化交流の熟成を待たずに富国強兵に走る日本では、林の活動はまったく理解されず、日本美術を流出させた「国賊」という評価さえ長く続いたのである。

本書は、2005年11月11日(金)~13日(日)に、林忠正没後100年、ジャポニズム学会創立25周年を記念して、日本女子大学(文学部・人間社会学部)とジャポニズム学会の共同主催、日本女子大学文化学会後援、鹿島美術財団およびブリヂストン美術館の賛助により、日本女子大学新泉山館で開催された国際シンポジウムの報告書である。

シンポジウムは3日間にわたり、初日には林の全活動を「日本近代」の視点から捉える木々康子氏(2009年「ミネルヴァ日本評選」の一冊として『林忠正』を上梓)の基調講演がなされた。2日目は「作品の移動を媒介とした貢献」つまり林を介しての美術品の東西の交流について、また3日目は「美術の受容における貢献」つまり当時の日欧におけるジャポニズムの理解と展開に大きく寄与した林の思想および対人関係をめぐり、それぞれ5名による報告とディスカッションが行われた。報告者の半数は英・独・仏・伊の研究者であり、また国内外から参加した多数の研究者・学芸員を巻き込んで、きわめて活発な議論が交わされ、そのすべてが同時通訳で行われた。

ジャポニズムが最も豊かな展開を見せた19世紀末の林の活動は、アメリカを含む世界的な規模でのモノと人の動き、西洋美術史への影響(例えば工芸品を美術とみなすアール・ヌーヴォーの誕生)、日本における西洋絵画の受容と近代日本のアイデンティティの問題など、非常に大きな広がりをもつものである。シンポジウムは、さまざまな地域、多様な角度からの議論によって、林の活動にミクロ・マクロの視線を投げかけたばかりでなく、19世紀末から20世紀初頭における東西の文化の交流と衝突、さまざまな誤解と理解から、20世紀の世界が生まれていく過程を、ジャポニズムという観点から照らし出す、実り豊かなものであった。

本書は、木々康子氏(作家)の基調講演、高木陽子氏(文化女子大学助教授)、G.アーヴィン氏(ロンドン、ヴィクトリア&アルバート美術館主任学芸員)、瀬木慎一氏(美術評論家)、N.アッヘンバッハ氏(ハンブルク工芸美術館学芸員)、G.ラカンブル氏(パリ、エコール・デュ・ルーヴル教授)、手塚恵美子氏(日本女子大学助手)、小山ブリジット氏(武蔵大学教授)、M.モスカティエロ氏(ソルボンヌ大学大学院・ボローニャ大学大学院博士課程)、山梨絵美子氏(東京文化財研究所)、馬淵明子氏(日本女子大学教授)の報告のみならず、2度のディスカッションの司会者(岡部昌幸氏・宮崎克己氏)による概要、高階秀爾氏(ジャポニズム学会会長・大原美術館館長)による総括、高頭の実行委員長挨拶、年表のすべてを日英の対訳とし、日欧の参考文献を挙げており、多数の貴重な写真を掲載している。(史学科教授)

2007年2月5日発行 ブリュッケ 442頁 *目白・西生田所蔵 請求記号702.06-Hay

一図書館（西生田）玄関ホール展示一

「西生田の森へようこそ」

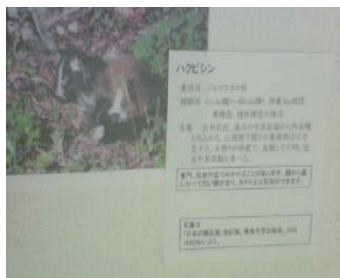
平成21年4月2日（木）～5月30日（土）にわたり「西生田の森へようこそ」と題して、西生田キャンパス内でみられる主な動植物を図書館にある各資料からコピーによって紹介しました（写真①～④）。新入生をお迎えするにあたり、身近な自然を知識として知ってもらおうとしたものです。また、生涯学習センター（西生田）のご協力をいただき、本学で行っている森の保存活動も紹介しました（写真⑤）。

<展示の様子>

①



②



③



④



⑤



<参考文献>

<全般>

P/051/N/57 「西生田キャンパスの森の保全と教育利用に関する基礎調査」 日本女子大学総合研究所紀要 9号, pp.1-52, 2006.11

P/051/N/39 青木ゆりか・峯岸秀雄 「西生田校地の花鳥ごよみ1991～1994（植物開花・野鳥滞在4年間の記録）」 研究紀要 / 日本女子大学附属高等学校 17号, pp.32-61, 1995.3

<動物>

R/488.03/Sas 日本の野鳥 羽根図鑑 / 笹川昭雄 世界文化社, 1995.7

R/488.03/Suz 江戸鳥類大図鑑 / 鈴木道男 平凡社, 2006.3

489/Nih 日本の哺乳類 / 阿部永 [ほか] - 改訂版 東海大学出版会, 2005.7

<植物>

R/470.3/Mak 原色牧野植物大図鑑 / 牧野富太郎 北隆館, 1982.7

R/627.03/Aze A-Z 園芸植物百科事典 / クリストファー・ブリッケル責任編集 誠文堂新光社, 2003.6

(館員・西生田図書館 山村いづみ)

－日本女子大学図書館友の会第44回・平成21年度総会開催される－

平成21年5月20日(水)、初夏を思わせる麗らかな光が目白キャンパスの新緑に照り映えるなか、日本女子大学図書館友の会(以下友の会と略)の第44回総会が開催された。

友の会は、1956年から1965年まで本学の第6代学長をつとめた上代タノ先生の設立した組織である。大学図書館とはつねに学問の中心に存在しなければならないという強い信念を持つ上代学長は「奨学金は一人の学生の学問を支えるものだが、書籍なら時代を超えた無数の学生に資することができる」と本学図書館のさらなる充実を望まれ、併せてそれを物心ともに永く支え援助する「図書館友の会」を設立したのである。会員は卒業生だけでなく教職員(含旧教職員)、在学生・卒業生のご父母、一般の方で幅広く構成されているのが特徴である。

第44回友の会総会は昨年度まで会長であった後藤祥子前学長の挨拶で始まった。「学長時代は会議等が重なり、友の会総会の最後まで出席がかなわず心苦しかった。今、心ゆくまで友の会の行事を堪能できる」とユーモアを交えた言葉の後を受け、新会長となった蟻川芳子学長はご自身が発見したロックフェラー財団と上代先生の密接な関係や、大学全体の発展に尽くした友の会の活動に言及し、今後の活動に明るい未来を託した挨拶となった。



開会を待つ役員の先生方

続く田中功図書館長は挨拶の中で、フィラデルフィア市が財政難のため公共図書館のいくつかを閉鎖する計画を立てたところ市民から読書の楽しみを奪うなという反対が生じ、その執行が中断したという話を取り上げ、書物を通して得る喜びを知る会員の心に深くしみた。

議事は議長選出に始まり、まず平成20年度の事業報告、上代タノ平和文庫報告、卒業生著作調査報告が行われ、その調査の成果として「日本女子大学卒業生著作目録追補 XIII」が配布された。この調査はインターネット検索の進化で成果が得やすくなった反面、桜楓会会員名簿の発行中止で新しい卒業生を認定するのが困難となった面を持つとのこと。個人情報保護の壁がこのようなところに影響をもたらすのかと思った。その後平成20年度決算報告及び監査報告、平成21年度事業計画案説明及び予算案説明が行われ、いずれも異議なく拍手を以て承認された。

引き続き図書館情報サービス課中曽根課長より平成20年度図書館報告があり、休憩を挟み本学英文学科教授ソントン不破直子先生による講演会「神の声と人の声ープラトン、モーセ五書から聖アウグスチヌスへー」が開催された。



講演をなさるソントン不破直子先生

今われわれが手にする書物の「作者」それは人間であることは言うまでもないが、果たしてその「作者」の概念の起源はどこにあるのだろうか。古代ギリシアの思想家プラトンの「作者」=「神」,「人」=「媒体」とみなす系譜をたどり、ギリシア古典を継承する古代のキリスト教義の深遠さに触れつつ、中世ルネッサンスへの曙光を垣間見る時間旅行を堪能した。

< 詳細は、ソントン先生著「ギリシアの神々とコピーライト」902-Tho 目白・西生田図書館所蔵 >

(館員・逐次刊行物係 大沼真美)



* 図書館友の会事務局：目白の図書館5階 入会等お問い合わせは電話03-5981-3183(月～金 10～16時)

平成21年度の講座・読書会のご案内は <http://www.lib.jwu.ac.jp/09kd.html> をご覧ください。

図書館ホームページ(<http://www.lib.jwu.ac.jp/>)の

利用状況照会 から

貸出延長 と 予約 ができるようになりました!



2009年5月11日(月)より、図書館ホームページの「利用状況照会」から
図書の貸出延長と予約、予約図書の受取館変更、予約の取消ができるよう
になりました。2008年10月1日(水)スタートの利用状況照会(ご自分の現在の利用状況(貸出中図
書、予約図書、延滞罰則中の場合のみ延滞罰則情報等)の確認)に加えて、5月開始の新機能をぜ
ひ活用してください。

利用するには図書館利用カード番号とパスワードが必要です。パスワードは2階カウンターで発
行しておりますので、お申し出ください。目白・西生田、どちらでも発行できます。

①入り口はここ!
利用状況照会
をクリック。

②利用状況照会の説明です。
説明をきちんと読み、利用状況照会と
図書館カウンターでのサービスを上手
に使いこなしてください。
③説明を読み終えたら、
利用状況照会をクリック。

④図書館利用カード番号と
パスワードを入力して
送信
をクリック。

⑤利用状況照会のメニュー画面です。
1. 貸出状況表示
貸出中図書の現在の状況の照会、
貸出延長をしたい場合はここをクリック。
2. 予約状況表示
予約図書の現在の状況の照会、
予約図書の受取館変更、
予約図書の取消をしたい場合は
ここをクリック。
3. パスワード変更
パスワードを変更したい場合は
ここをクリック。

貸出延長の方法

貸出延長は返却期限内で予約がついていない場合に可能です。(1資料あたり1回)

※図書館2階カウンターに利用カードと該当図書を持参して「借り直し」手続きをすれば、また利用状況照会で1回の貸出延長が可能になります。

①チェックボックスが出ている資料は延長できます。該当図書にチェックをつけ、**貸出延長** をクリック。

利用状況照会 << 貸出状況表示 >>

戻る 予約状況照会

ご自分の利用状況を確認したら、個人情報保護のため、必ず「ウィンドウを閉じる(ログオフ)」ボタン、または右上の×をクリックして、表示を消してください!!

貸出延長を行う場合は、延長したい資料を選択して貸出延長ボタンをクリックしてください。

No.	延長	貸出日	返却期限日	請求記号	タイトル	ID番号	所属区分	コメント
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2009/5/07	2009/6/08	/J317Tak	竹中教授のみんなの経済学 / 竹中平蔵著	2234200	図書館目録	
2	<input type="checkbox"/>	2009/5/09	2009/6/09	/J33Lag5	グ・戦記 / ルーグウィン / 作 (5)	3144247	図書館西生田	
3	<input type="checkbox"/>	2009/5/18	2009/6/18	/J33Lew4	ナルニア国ものたり / シ・ルイス / 作 (再4)	1124691	図書館目録	

貸出延長

★利用状況照会終了時は、ウィンドウを閉じる(ログオフ)をクリックして終了して下さい。

利用状況照会 << 貸出延長確認 >>

戻る 予約状況照会

貸出延長を行いますか?

No.	貸出日	延長前	延長後	コメント	タイトル
1	2009/5/07	2009/6/08	2009/6/22	竹中教授のみんなの経済学 / 竹中平蔵著	

はい いいえ

②確認してから、**はい** をクリックすると返却期限日の変更されます。※貸出延長した日が起算日になります。

図書の予約の方法

OPAC (= Web での本学の蔵書検索) の検索結果詳細画面から予約登録ができます。

検索結果詳細

西生田の全資料と、目録の洋雑誌は検索できます。目録の和洋図書、和雑誌は一部未入力です。

Back to >>> 検索結果一覧 >

No. [34] 書誌番号: B3N7383875

著者/編者 = 読書進化論: 人はウェブで変わるのか、本はウェブに負けたのか / 藤岡和代著

書名(カナ) = ドクショシノカワロシト ウェブデカナルノカホン ウェブニマカタノ

編者(コト) = 藤岡和代(カノミ、カズヨ)

原書(カナ) = ショウカワカン 101 ショジョ

出版年 = 東京: 小学館, 2008 10

頁・大きさ = 254p. 18cm

一般注記 = 文獻 p[241]-251

I S B N = 9784098250011

N D C 分類 = ND-C8: 019

所蔵情報

<図書目録目>

ID番号 = *2344542 請求記号 = /019&cat/ 貸出中(返却期限日 09/ 6/19) 予約登録

①利用状況照会で予約可能な場合にのみ

予約登録 の表示が出ます。

※この表示が出なくても、図書館2階カウンターで受付可能な場合もあります。

予約登録入力

書誌事項: 読書進化論: 人はウェブで変わるのか、本はウェブに負けたのか / 藤岡和代著 / 小学館101新書(001)

必須事項を入力して「登録」ボタンをクリックしてください。
パスワードの発行・再発行は図書館カウンターで手続きしてください。

利用カード番号:

パスワード:

受取館:

登録 目録 返却日

予約の取消、受取館変更は予約状況照会画面から行えます。
※Web上での予約は20件までできます。

②図書館利用カード番号とパスワードを入力して受取館を選択し、**登録** をクリック。その後は予約登録確認画面の指示に従ってください。

予約図書の受取館変更、予約の取り消し方法

利用状況照会 << 予約状況表示 >>

戻る 貸出状況照会

ご自分の利用状況を確認したら、個人情報保護のため、必ず「ウィンドウを閉じる(ログオフ)」ボタン、または右上の×をクリックして、表示を消してください!!

チェックボックスが出ている資料は現在受取館変更、予約取り消しができます。受取館を変更する場合は、対象と受取館を選択して受取館変更ボタンをクリックしてください。また予約取り消しする場合は、対象を選択して予約取り消しボタンをクリックしてください。ただし、すでに取り置きされている予約についてはカウンターにお問い合せください。

No.	予約日	タイトル	請求記号	ID番号	所属区分	順位	受付	受取館	コメント
1	2009/5/22	読書進化論: 人はウェブで変わるのか、本はウェブに負けたのか / 藤岡和代著 / 小学館101新書(001)	/019&cat/	2344542	図書館目録	1位	Web	目録	貸出中(返却期限日 2009/6/19)

受取館変更 予約取り消し

★利用状況照会終了時は、ウィンドウを閉じる(ログオフ)をクリックして終了して下さい。

利用状況照会の予約状況表示に、チェックボックスが出ている資料は、受取館変更、予約取消ができます。受取館を変更する場合は、対象と受取館

を選択して **受取館変更** をクリック。

予約取消をする場合は、対象を選択して

予約取消 をクリック。

(館員・閲覧係 中澤恵子)

図書館からのお知らせ

図書館では、館内に設置した意見箱、館員に寄せられた声を真摯に受けとめ、本学図書館の在るべき姿を考えサービスの向上に取り組んでおります。図書館の動きを皆様にご理解いただき、より一層ご利用いただけるよう、2008年4月～2009年5月の取り組みを、下記のとおり時系列でご紹介します。今後、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。最新情報は図書館ホームページをご覧ください。

日本女子大学図書館サービス向上への取り組み
(2008年4月～2009年5月)

<2008年度>

- 「教養特別講義1 関連図書コーナー」新設 (4月)
- グループ研究室の情報コンセント運用開始 (西生田4月、目白11月)
- 新着図書のお知らせポスターを研究室に新規配付 (4月)
- 館内設置メディアセンターパソコン運用開始 (5/7)
- 「学生が読みたい本」第2回実施 (5月)
- 試験期の1週間前から通常より30分早く開館 (7月、1月)
- 目白正面玄関の段差解消リフト新設・運用開始 (7月)
- 休暇中の開館時間を延長 (目白夏季・冬季、西生田夏季・冬季・春季)
- 目白ロッカー室レイアウト変更、飲み物を飲めるスペースとして運用開始 (8月)
- 大学院生の図書貸出冊数上限を20冊とする新規則運用開始 (9月)
- パソコンからの利用状況照会開始 (10月)
- 「学生が読みたい本」第3回実施 (10月)
- 利用のしおり英語版新規作成 (1月)
- 目白2階ロッカー室改装 (2月～3月)
- 目白2階3階トイレ改修 (2月～3月)

<2009年度>

- リンクリゾルバ「JWU Link」利用開始 (4月)
- 図書館ホームページに「現代女性とキャリア連携専攻」推薦図書リストを掲載 (4月)
- パソコンからの貸出延長、予約開始 (5月)

編集後記 6月23日は目白図書館の開館記念日。本学創立60周年記念事業として新設された。今年で開館45周年。新設時の優れた基本構想に支えられ時代の変化に対応してきた建物も、狭隘化、老朽化は否めない。先人たちの努力の上に現在の知恵を絞る日々が続く。巻頭写真は西生田キャンパス初夏の風景、西生田図書館は開館20年目の年である。(中曽根)

2008年度実施した利用者向け講習会

- ☆「新任教員の集い」図書館利用案内(4/1 11名参加)
- ☆1年次オリエンテーション<目白・西生田>
スライド上映: 4/4西生田, 4/5・4/7目白
図書館案内: 4/4西生田 (自由参加形式297名参加)
- ☆新大学院生オリエンテーション<目白>
4/4理19名参加 4/10文・家政11名参加
5/17通信教育課程18名参加
- ☆研究分野別ガイダンス
<目白>
英文13回194名参加 児童3回81名参加
家政経済1回8名参加 物質生物1回6名参加
<西生田> 心理2回18名参加
- ☆資料の探し方講習会<目白> 19名参加
- ☆資料検索講習会<西生田>
社会福祉学科1年生 79名参加
蔵書検索 7回 38名参加
DB 日本語 17回 38名参加
DB 英語 6回 6名参加
RefWorks 日本語 6回 7名参加
RefWorks 英語 1回 1名参加



今年度も開催しますので、
ふるってご参加ください。
卒論等論文作成のご相談は随時、
参考係でお受けしております。